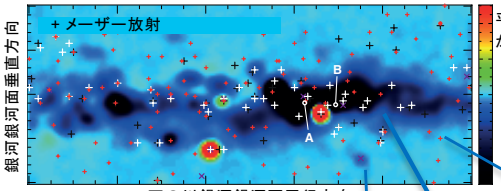
ホームページ QRコード

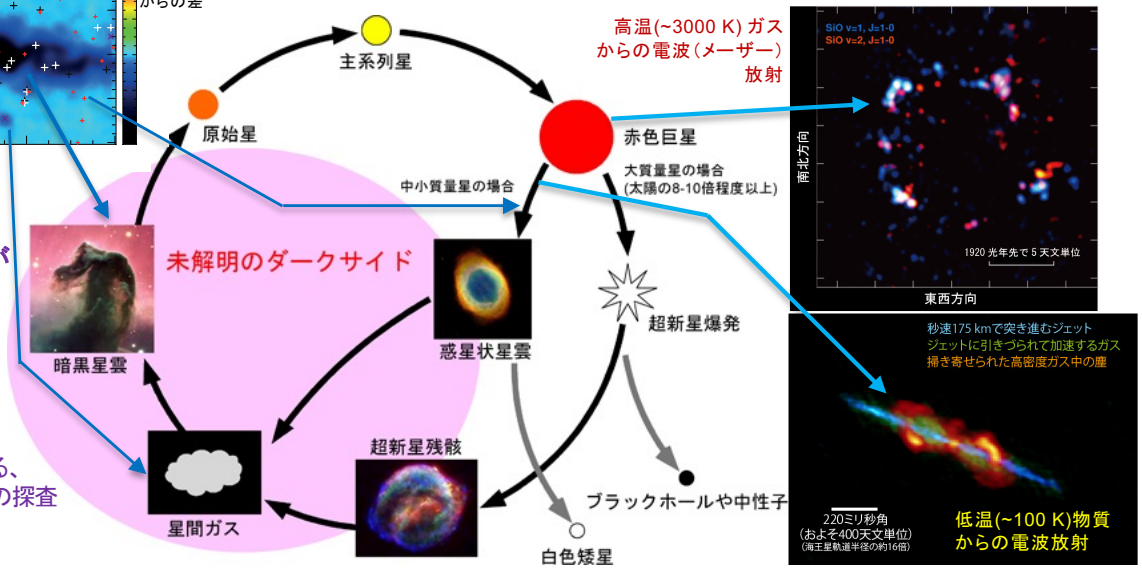
鹿児島大学星間・星周物理学研究チーム
(今井 研究室)

http://milkyway.sci.kagoshima-u.ac.jp/~imai/lab/index_en.html
http://agarc.sci.kagoshima-u.ac.jp/

AGARC Amanogawa-Galaxy Astronomy Research Center

2023年7月22日野辺山特別公開
オンライン 2023「電波天文学を学べる大学」





研究室メンバー・協力者が研究に取り組んでいる天体が見られるところ

- 物質を大量噴出する若い星・終末期の星のうち、宇宙メーザーを伴う段階にある星々の進化
- やがて暗黒星雲へ取り込まれる、星間物質中の極小(~1 au)塊の探査

↓

見込み角が1ミリ秒角以下の天体

電波干渉計による解像が必要

研究室の教員 (今井 裕・いまい ひろし) について

主担当(教育):
鹿児島大学総合教育機構共通教育センター
「天体観測と科学・技術」(2024年度より)、
「宇宙・地球の計測／計量」授業担当
副担当(研究):
鹿児島大学理工学研究科附属天の川銀河研究センター
「電波干渉計特論」授業担当、大学院生研究指導
鹿児島大学理学部理学科物理・宇宙PG卒業研究指導

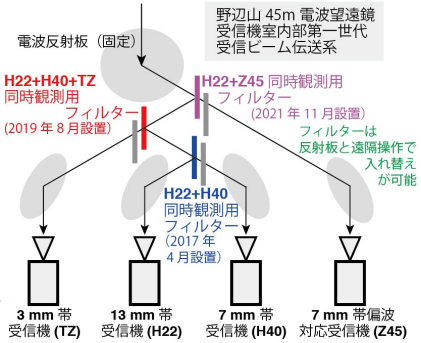
天の川銀河研究センター(AGARC) について

理工学研究科理学系教員7名、同工学系教員2名
共通教育センター教員1名、医歯学総合研究科教員1名
このうち電波天文学の研究室は5名(2024年度見込み)
特任教員2名、ポスドク6名(2023年度)、
日本学術振興会特別研究員2名(2023年度)

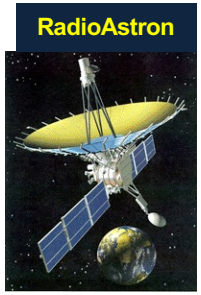
学部・大学院教育について

理学科物理・宇宙PG宇宙分野への配属: 23名/年程度
理学専攻物理・宇宙PG宇宙分野への進学: 12名/年程度

研究室メンバー・協力者が立ち上げた新観測システム@野辺山45m電波望遠鏡



研究室メンバー・協力者が利用する世界の電波干渉計



この様な学生や協力者と共同研究に取り組んでいます/きました(古い順)。

- 留学生(ナイジェリア、英国、ハンガリー、香港出身)
- 海外の研究者(米国、英国、オランダ、韓国、中国、香港、ロシア、スペイン、豪州、メキシコ、台湾、南アフリカ、等々)
- 国内研究機関・大学(国立天文台、宇宙科学研究所、大阪公立大、山口大、茨城大、名古屋大、熊本大、等々)

研究室で主に取り組んでいる技能向上:

- 電波干渉計 (VLBI) データ較正法・電波像合成法、各種データ処理自動化、各種電波計測
- 国際的交流、一般市民との学術的対話

詳細の問い合わせ先: 今井 裕 hiroimai@km.kagoshima-u.ac.jp